

平成25年度 一般社団法人日本家政学会

色彩・意匠学部会報 No. 10

発行日 平成26年3月31日
発行人 一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1705室(蒲池)
TEL/FAX : 03-3262-2617

《平成25年度総会報告》

平成25年5月18日(土)昭和女子大学(日本家政学会第65回大会会場)において、「平成25年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議事

平成24年度事業報告

1. 総会

平成24年5月12日(土)大阪市立大学
(日本家政学会第64回大会会場)

2. 役員会

平成24年8月23日(木)東京家政学院大学
平成25年3月9日(土)なら工芸館

3. 連絡懇談会

平成24年8月23日(木)東京家政学院大学
(夏季セミナー会場)

4. 平成24年度夏季セミナー

平成24年8月23日(木)・24日(金)
会場：東京家政学院大学／東京スカイツリー／旧岩崎邸

<プログラム>

- 8月23日(木)会場：東京家政学院大学
講演1)「新聞メディアから見た2012年ファッション事情」
講師：読売新聞東京本社 高橋 直彦氏
講演2)「新光源&節電時代の照明」
講師：パナソニック株式会社 岩井 彌 氏
講演3)「理解しやすい被服学のためのe-ラーニングの利用」

講師：名古屋学芸大学 石原 久代氏
名古屋女子大学 小町谷 寿子氏
(共に部会員)

● 8月24日(金)

見学1)東京スカイツリー、浅草自由散策
見学2)重要文化財 旧岩崎邸

5. 情報交換会

平成24年8月23日(木)東京家政学院大学
(夏季セミナー宿泊ホテル)

6. 共同研究打ち合わせ

平成24年8月23日(木)東京家政学院大学
(夏季セミナー宿泊ホテル)

7. 春季講習会

平成25年3月9日(土)なら工芸館
テーマ：『生活に活かす!色彩・意匠学の現在(きょう)・未来(あした)』
講演1)「古代の色～陶芸に関わる色～」
講師：赤膚焼窯元 日展会友 大塩 正氏
講演2)「似合う色を提案して
—10年間のセミナー体験から」
講師：稲垣 有美子氏(部会員)

8. 平成24年度役員構成

部会長：成田巳代子
副部会長：武井玲子、井澤尚子
常任委員：
<監事>芦澤昌子、橘喬子
<庶務>畑久美子、宮武恵子、大澤香奈子
<会計>佐々木由美子、蒲池香津代、井澤尚子
<監査>橋本令子、近藤信子
<会報>小町谷寿子、花田美和子
<夏季セミナー>井澤尚子
<春季講習会>橘喬子、成田巳代子、花田美和子、

大澤香奈子

<共同研究>石原久代

<ホームページ>内藤章江

<顧問>伊藤紀之、加藤雪枝、斎藤祥子

(夏季セミナー会場)

7. 春季講習会

平成 26 年 3 月 8 日 (土) 東京家政学院大学

テーマ 『“暮らし” で考えるデザインのカ』

講演 1) 「高齢者・障がい者配慮のデザインガイドラインとその標準化活動」

講師：日本女子大学家政学部被服学科特任教授
佐川 賢 氏

講演 2) 「生活デザイン研究への入り口」

講師：共立女子大学名誉教授 伊藤 紀之 氏

講演 3) 「西アフリカ、北部カメルーンの民族衣裳」

講師：滋賀短期大学名誉教授 成田 巳代子 氏

8. 平成25年度役員構成

部会長：武井玲子

副部会長：井澤尚子、小町谷寿子

常任委員：

<監事>橋喬子

<庶務>畑久美子、大澤香奈子

<会計>佐々木由美子、蒲池香津代

<監査>橋本令子、成田巳代子

<会報>花田美和子、戸田賀志子

<夏季セミナー>花田美和子、橋喬子、戸田賀志子、
成田巳代子、大澤香奈子

<春季講習会>井澤尚子、武井玲子、蒲池香津代、
佐々木由美子、畑久美子

<共同研究>石原久代、井澤尚子

<ホームページ>内藤章江

<顧問>芦澤昌子、斎藤祥子

9. 平成24年度会計報告

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

収入の部	金額 (円)	支出の部	金額 (円)
前年度繰越金	28,700	通信費	7,170
部会費	31,000	消耗品費	3,190
セミナー会費	315,000	HP 使用料	5,315
活移動助成金 (学会本部より)	141,219	セミナー開催費	459,935
財務活動支出(前年 度定期預金解約)	90,000	印刷費	2,603
雑収入(利息等)	20	投資活動支出 (定期預金)	90,042
		雑費 (振込手数料等)	0
		次年度繰越金	37,684
合計	605,939	合計	605,939

以上の報告通り相違ありません。

監事 橋本 令子 印 (平成 25 年 4 月 4 日)

近藤 信子 印 (平成 25 年 4 月 4 日)

平成 25 年度事業計画

1. 総会

平成 25 年 5 月 18 日 (土) 昭和女子大学
(日本家政学会第 65 回大会会場)

2. 役員会

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 神戸松蔭女子学院大学
平成 26 年 3 月 8 日 (土) 東京家政学院大学

3. 連絡懇談会

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 神戸松蔭女子学院
大学 (夏季セミナー会場)

4. 平成 25 年度夏季セミナー

平成 25 年 8 月 22 日 (木)・23 日 (金) 神戸松
蔭女子学院大学
会場：神戸松蔭女子学院大学

5. 情報交換会

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 神戸松蔭女子学院大学
(夏季セミナー会場)

6. 共同研究打ち合わせ

平成 25 年 8 月 22 日 (木) 神戸松蔭女子学院大学

9. 平成25年度予算案

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日収入の部	金額 (円)	支出の部	金額 (円)
前年度繰越金	37,684	旅費交通費	24,000
平成 25 年度部会費	35,000	通信費	10,000
平成 25 年度夏季 セミナー会費	300,000	消耗品費	5,000
平成 24 年度春季 講習会費	60,000	印刷費	10,000
		会議費	10,000
		セミナー&講習 会開催費	328,000
		HP 使用料	6,000
		雑費(振込手数料 等)	2,000
財務活動支出	90,042	財務活動支出	90,042
		次年度繰越金	37,684

合計	522,726	合計	522,726
----	---------	----	---------

平成 25 年度総会議事録

日 時 : 平成 25 年 5 月 18 日 (土) 12:20~13:20
 場 所 : 昭和女子大学 1 号館 4S07 教室
 司 会 : 井澤 尚子 副部会長
 参加者数 : 13 名 委任状 8 名

I. 開会の辞

井澤副部会長より開会の辞が述べられた。

II. 部会長挨拶

武井部会長より挨拶がなされた。

III. 議長選出

議長に井澤副部会長が選出された。

IV. 報告・審議事項

1. 平成 24 年度事業報告

畑委員から平成 24 年度の事業報告があった。

2. 平成 24 年度会計報告、同 監査報告

佐々木委員から平成 24 年度の会計報告があった。
 橋本委員から平成 24 年度の会計監査報告があった。

3. 平成 25 年度事業計画案

畑委員から平成 25 年度の事業計画案が説明され、了承された。

4. 平成 25 年度予算案

佐々木委員から平成 25 年度予算案が説明され、了承された。

5. 平成 25 年度夏季セミナーについて

花田委員から平成 25 年度夏季セミナーの詳細な内容とスケジュールが説明された。案内を部会 HP と学会誌 6 月号に掲載する。申込は専用アドレスへと伝えられた。

6. 平成 25 年度色彩・意匠学部会役員について

武井部会長から平成 25 年度色彩・意匠学部会役員について説明があり、了承された。春季講習会担当役員および共同研究の意匠担当の役員については、内容を含め、夏季セミナーの時期までに決定したい。

7. 色彩・意匠学部会ホームページについて

内藤委員から更新内容について説明がなされた。夏季セミナーと春季講習会の情報を更新した。また、夏季セミナーの申し込み方法と申し込み専用アドレスを掲載した。セミナーや講習会担当役員には、報告文と写真の準備を依頼する。

8. 平成 24 年度共同研究について

井澤委員から説明がなされた。昨年度より取り組んでいる内容をまとめ、今回の家政学会で二報発表する。本研究は今後も継続し、来年度は実生活での活用を目指し研究開発を行う。今夏を目標に意匠分野の共同研

究グループを立ち上げ、4~5 件の発表ができるようにしたい。

石原委員より、これまでの共同研究は大人数のグループであったが、今後は 4~5 名の少人数でグループを作り、テーマ設定から始めていく必要があるとの意見が出された。(代理・小町谷)

9. その他

武井部会長より規約の改正について説明がなされ、承認された。

成田委員より、学会への助成金申請の締切の関係上、春季講習会の企画は 9 月までに決定するよう説明がなされた。

III. 閉会挨拶

武井部会長より閉会の挨拶がなされた。

《 夏季セミナー報告 》

平成 25 年度 日本家政学会色彩・意匠学部会の公開講演会ならびに第 35 回夏季セミナーが平成 25 年 8 月 22 日 (木) ~ 23 日 (金) に 2 日間の日程で開催された。今回はセミナーテーマを『機能性、色彩とデザインそして表現へ』と題し、公開講演会、見学会を企画した。参加者はのべ 57 名であった。

第 1 日目の公開講演会では、神戸松蔭女子学院大学を会場に 3 名の講師をお招きしておこなわれた。神戸に位置するアシックススポーツ工学研究所の所長であり、スポーツ工学の第一線でご活躍されている西脇剛史氏、金城学院大学ファッション工房で障害者・高齢者のおしゃれ支援に尽力されている金城学院大学教授 平林由果氏、長年ファッション教育の分野で活躍されている本部会員の夙川学院短期大学名誉教授 橋喬子氏によって、各分野の最先端の話題を講演いただいた。フロアの一般参加者からも次々と質問がなされ、活気ある公開講演会となった。

第 2 日目の見学会は、わが国最大の先染綿織物産地である兵庫県西脇市を訪れ、播州織工房館、西脇情報未来館、旧来住家住宅、糸染工場、整理加工場を見学した。

<プログラム内容>

- 8 月 22 日 (木) 会場 : 神戸松蔭女子学院大学
- 12:30~受付
- 12:45~13:15 部会打ち合わせ会
- 13:30~14:50 講演 1 「スポーツ衣料の視点から」
~アスリートのための高機能ウエア設計
(株) アシックス スポーツ工学研究所
所長 西脇 剛史氏
- 15:00~16:20 講演 2 「授業としてのファッションショーへの取り組み」

～企画と実践の方法

夙川学院短期大学名誉教授

橋 喬子氏

16:30～17:10 講演3「おしゃれ支援活動について」

～あきらめずにおしゃれを

金城学院大学教授 平林 由果氏

19:00～21:00 情報交換会（六甲山ホテル）

●8月23日（金）見学場所：兵庫県西脇市

10:00～ 六甲山ホテル出発

11:00～12:00 見学1 播州織工房館、西脇情報未来館、旧来住家住宅

12:00～13:00 昼食 梅吉亭

13:00～14:00 見学2 東播染工株式会社

14:00～15:00 見学3 播州織工業協同組合

16:00～ 新神戸駅、三ノ宮駅にて解散

1) 講演1

「スポーツ衣料の視点から」

～アスリートのための高機能ウェア設計

講師 西脇 剛史氏

((株)アシックス スポーツ工学研究所)

ロンドンオリンピックのアスリートウェアについて、スポーツソックスの機能設計、高速水着の機能設計、着圧シミュレーションシステムの開発事例をご紹介いただいた。一般消費者の知ることのない最先端のアスリートウェアの設計について、たくみな話術と分かりやすい説明で楽しく学ぶことができた。アスリートが着用する高速水着をお持ちいただき、実際に手に取って学ぶ貴重な機会をえることができた。

2) 講演2

「授業としてのファッションショーへの取り組み」

～企画と実践の方法

講師 橋 喬子氏（夙川学院短期大学）

授業としてのファッションショーについて、その方法を学ぶ機会は少ない。教員・デザイナーとしても活躍されている専門的立場から、ショーの企画・実践のポイントと、複数の授業と関連させて教育効果を高める方法を、映像を交えながら詳しく解説していただくという貴重な講演であった。また、ファッションショーの画像等を納めたCD-ROM資料を後日郵送でご提供いただいた。

3) 講演3

「おしゃれ支援活動について」～あきらめずにおしゃれを

講師 平林 由果氏（金城学院大学）

ユニバーサルデザインは本部会が追究し続けている研究テーマの一つである。おしゃれが人の心身を活性化する可能性についての研究結果とともに、金城学院ファ

ッション工房のおしゃれ支援活動についての事例をご紹介いただいた。高齢者・障害者対応のサンプルを実際に手に取りながら、商品の特徴についての解説を聞くことができた。



ファッション工房のオリジナル商品を手に取る参加者

4) 見学1 播州織工房館、西脇情報未来館、旧来住家住宅、

のこぎり屋根の古い織物工場を再利用した播州織工房館は、先染織物の生地や糸、産学連携ブランドや産地企業のオリジナルブランドによる播州織製品を扱うアンテナショップである。館内の展示ブースでは播州織の歴史が紹介され、大型織機の展示・実演も行われている。あふれんばかりの色とりどりの織物に心を奪われ、時の経つのも忘れるようであった。



播州織工房館での集合写真

播州織オーダーメイドシャツ専門店である西脇情報未来館は、旧来住家住宅の敷地内に位置する。旧来住家住宅は国登録有形文化財である大正時代の高級民家である。播州織工房館ともども古い町並みの景観を残した風情ある一帯を楽しむことができた。



旧来住家住宅（国登録有形文化財）離れでの昼食

5) 見学2 東播染工株式会社見学

先染織物は、織糸を先に染め、織工場、整理加工場を経て完成する。東播染工株式会社は染色・製織・加工部門を持つ一貫工場であるが、今回は糸の染色工程を見学させていただいた。長年にわたって蓄積されてきた糸のカルテは約10万色にも及ぶ。カラーマッチングを駆使して作られた色系のサンプルは圧巻であった。

6) 見学3 播州織工業協同組合

播州織工業協同組合では織り上がった生地加工を施し、用途に応じた特性・性能・風合いを付加し、商品価値を高める整理・加工の工程を見学させていただいた。毛焼き、マーセライズ加工、防縮加工等、多くの工程を経て製品となることを改めて実感することができた。



工場の熱気の中で解説を聴く。

真夏の工場内はどちらも熱と蒸気で過酷な状況であったが、それ以上に熱いハートで我々に解説して下さいました。ご担当の方々と、この見学会のためにお骨折りいただいた公益財団法人北播磨地場産業開発機構の足立様、工房館の見学をコーディネートして下さいました播州織デザイナーの国米利美様に感謝の意を表したい。そして、ここで得られた知識を教育・研究に多いに役立てたいと思う。

(夏季セミナー実行委員：花田美和子)

《 お知らせ 》

平成26年度 色彩・意匠学部会 第36回夏季セミナー

平成26年度色彩・意匠学部会総会及び夏季セミナーを下記の通り、開催致します。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さいませ。

期日：平成26年8月21日（木）、22日（金）

会場：信州大学繊維学部（長野県上田市）

申し込み・問い合わせ先：

〒963-8503 福島県郡山市開成3-25-2

郡山女子大学人間生活学科

TEL 024-932-4848

e-mail jaf02763@nifty.com 武井 玲子

◇ 詳細は、後日案内をさし上げます。

色彩・意匠学部会 ホームページ

平成22年度より、色彩・意匠学部会のホームページを開設しております。部会における取組の紹介やイベント情報、会報のバックナンバーなどを掲載しています。是非ご覧ください。

色彩・意匠学部会ホームページ URL

<http://shikisai-isyou.sakura.ne.jp/index.html>

色彩・意匠学部会規約

第1章 総則

第1条 本会は、(社)日本家政学会色彩・意匠学部会とする。

第2条 本会は、(社)日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

1. 部会総会
2. 部会セミナー
3. 部会講習会・見学会
4. 部会研究会
5. 会報・成果の印刷物配布
6. その他、本会にて必要と認める事業

第4条 事業は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の事業計画・事業報告は、学会理事会に報告するものとする。

第3章 会員

第5条 本会は、次の構成員で組織する。

1. 正会員 原則として日本家政学会会員で、色彩・意匠学領域に関連する研究・教育に携わる者
2. 学生会員 色彩・意匠学領域に関心を持つ学生

第4章 役員

郡山女子大学 人間生活学科 武井 玲子

第6条 本会の運営を円滑にするために、次の役員をおく。

1. 部会長 1名
2. 副部会長 2名
3. 常任委員 20名以内
4. 監事 2名
5. 顧問 若干名

TEL：024-932-4848

e-mail：jaf02763@nifty.com

(付2)：事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地

東京家政学院大学 現代家政学科 1705 室 蒲池香津代

第7条 部会長の選任、解任は次の通りである。

1. 部会長は、日本家政学会会員に限る。
2. 部会長の選任は、本会会員の互選によって選出し、部会総会にて報告承認を行い、学会理事会において承認を受ける。
3. 部会長の解任は、総会にて行い、学会理事会において承認を受ける。
4. 部会長が解任された場合は、前任者の残任期間は他の役員が職務を代行する。

(部会費振込み先)口座番号：0014—5—389316

口座名義：色彩・意匠学部会

第7条 副部会長・常任委員・監事・顧問は、会員の互選によって選出し、総会にて承認を受ける。また、解任は総会にて行い、残任期間は他の役員が職務を代行する

第8条 役員任期は2年とし、再選をさまたげない。

第9条 役員職務は次の通りとする。

1. 部会長は、本会を代表し、会の運営を統括する。
2. 副部会長は、部会長を補佐する。
3. 常任委員は、本会の業務を遂行し、必要に応じて業務を分担する。
4. 監事は、本会会計の監査を行う。
5. 顧問は、必要な助言を行う。

＜編集後記＞ 皆様のご協力のもと、会報の発行に至りましたことを深く感謝いたします。桜の花に雪が舞い、猛暑やゲリラ豪雨・豪雪と、本年度は自然に翻弄された出来事が続きました。二つの震災を経て、私たちの暮らしのあり方そのものを再考すべき時期なのかもしれません。そんな中、夏季セミナーの情報交換会会場となった六甲山ホテルから部会員の皆様と眺めた神戸の夜景の素晴らしさは、格別でした。ソチ五輪では、連日熱戦が繰り広げられました。出場選手と同様、色彩・意匠学部会員の皆様の益々のご活躍をお祈りしております。(担当：戸田花田)

第5章 総会

第10条 本会の総会は、原則として(社)日本家政学会の年次大会時に開催する。また、適宜臨時総会を開催することができる。

第6章 会費

第11条 本会の会費は、年額千円とする。

第7章 会計

第12条 本会の運営経費は、会費による。

第13条 会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の予算・決算報告は、学会理事会に報告するものとする。

第8章 事務局

第14条 本会の事務局は、庶務責任者または会計責任者の所属する機関内におく。

[付則]

この規約は、昭和53年4月1日より施行する。

この規約は、昭和58年8月26日より施行する。

この規約は、平成元年8月22日より施行する。

この規約は、平成15年8月28日より施行する。

この規約は、平成22年5月29日より施行する。

申し合わせ事項

1. 役員職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。(付2)
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。

(付1)：部会長連絡先

〒963-8503 福島県郡山市開成3-25-2